

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自主的・自治的な態度を育て、健康で安全な学校生活が送れる「活気」ある学校づくりを推進します。 ・生徒が主体的に学び、判断し、行動し、自らが問題を解決していこうとする力を培う学校づくりを推進します。 ・教育の専門家としての自覚をもって授業や行事に取り組み、「魅力」ある学校づくりを推進します。 ・小中一貫教育、保護者と地域、関係機関との連携などを意識して地域社会に「開かれた」学校づくりを推進します。 ・教職員一人ひとりが学校経営に主体的に参画し、チーム力を生かし組織力を構築し「信頼される」学校づくりを推進します。 	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
豊かな心		<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の要である「道徳科」の授業改善を図るとともに、すべての教育活動を通して、道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めることで、道徳的な判断力・心情、実践意欲と態度を育てる。 ・生徒一人ひとりが道徳的価値を理解し、それを自分との関わりでとらえて自己を見つめ、主体的に自分の生き方を切り拓く心を育てる。 ・自分とは異なる考え方や新しい見方に触れる中で、自分の考えを深め、自らの成長が実感できるよう、自分の考えをまとめたり、討論したりするなど、表現活動の充実を図る。
担当	道徳係 人権係 学級係	

2 生徒の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

- ・比較的落ち着いた学校生活を送り、学校行事や部活動にも積極的に関わろうとする生徒が多い。
- ・明るく素直の生徒が多く、基本的な生活習慣が身についている。
- ・人間関係の構築、コミュニケーション力の育成が必要である。
- ・全体的に依存心が強く、粘り強さや忍耐力、集中力を高める必要がある。
- ・友人関係で悩みを抱える生徒も多く、自分勝手に行動する側面がみられる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育

- 「授業」のつながり
- ・各教科等における道徳教育に関わる指導の内容及び時期を整理し、別葉に表します。
 - ・各教科等との関連を重視して年間指導計画を作成し、意図的・計画的に指導します。
- 「人」のつながり
- ・自己を見つめ、自己の生き方についての考えを深めるため、生徒同士が道徳的価値に関わる考え方や感じ方を語り合う場を創造します。
 - ・教師と生徒の信頼関係や生徒相互の人間関係を育て、一人ひとりが自分の考え方や感じ方を伸び伸びと表現することができる雰囲気や日常の学級経営の中で構築します。
- 「学びの場」のつながり
- ・「道徳科9年間で育成を目指す資質・能力一覧表」を活用し、思春期の特質や社会との関わりを考慮し、道徳的価値に基づいた「人間としての生き方についての自覚」を重視します。

【項目 自分づくり（キャリア教育）】

- ・夢や希望、目標をもてる子どもを育成する自分づくり教育を推進します。
- ・地域と協働した「職業講話」や「職場体験」を実施し、自己肯定感や主体性を高め、勤労や自分の将来についての見方や考え方を広げます。